

志産地生委員会

委員長 森澤 將司

〔スローガン〕

「高い志と自己肯定感を育む」

〔基本方針〕

私は小さい頃から父に呉の魅力を語られてきた。呉で戦艦大和ができ、美味しい魚が食べられる。季節によって鮮やかに染まる豊かな海と山が呉にはある。父は呉が好きだと子どもながらに理解した。私は大学進学と共に上京し、都会の生活は刺激的ではあったが、父から教わった呉の魅力が忘れられず呉に帰省した。

私は二児の父になり、いつも子どもは「天才！」だと感じている。子どもの発想力・想像力・行動力の凄さを皆も感じたことはないだろうか。ここでいう「天才」とは自己肯定感が高く、個性で溢れかえっていることを指す。では、我々大人はどうか。自身の個性は時の流れと共に薄れたのか、私は違うと思う。我々もまた、個性溢れる天才である。

2018年に呉青年会議所に入会し、活動の中で呉のまちが好きだと思っている市民は多いと感じたが、仲間や子どもに「呉っていいね。」と堂々と言い合える関係性が築けていないのではないかと考えた。一方で、呉青年会議所メンバーは各々が志を持ち、互いに志をぶつけ合い、さらに高くなった志で一丸となり事業を行っていた。高い志と自己肯定感を持つ仲間と「呉っていいね。」と言い合える関係性を築くことで、私は呉に対し愛着を感じた。

そこで、呉市民に高い自己肯定感を持たせ、あらゆる苦難が起きても挑戦し続ける呉市民を増やす。また、大人が子どもを褒める場を与え、さらに高い自己肯定感を育み「呉っていいね。」と言い合える仲間・家族を増やし、何事も前向きに捉えやり抜く力・好奇心などの人生を成功させる力を発揮させたい。

私が地域に愛着を感じる言葉に「地産地消」というものがある。この言葉を、呉のまちに向け考えた言葉が「志産地生」だ。呉の魅力を語り合い、呉のまちのために協力し志を貫いていく。それを繰り返すことで、呉に住む意味を自身で創造し、呉で楽しむ力を持って欲しいと思う。これらのビジョンをもとに事業を展開し、仲間と共に明るい豊かな呉を目指す。

〔事業計画〕

1. 事業名：3月担当例会
目的：当委員会が行う今年度の事業概要及び目的の周知
方法：プレゼンテーション等

2. 事業名：5月担当例会
目的：当委員会が行う事業を円滑に運営するため、会員に対し事業の周知を行う
当委員会が設営を行うブロック野球大会を円滑に運営するため、会員に対し大会の周知を行う
方法：プレゼンテーション等

3. 事業名：志産地生創造事業1（仮）
目的：大人達が子ども達を褒め称える場を提供し、さらに高い自己肯定感を育む
方法：参加・体験型事業の実施

4. 事業名：8月担当例会
目的：当委員会が行う事業を円滑に運営するため、会員に対し事業の周知を行う
方法：プレゼンテーション等

5. 事業名：志産地生創造事業2（仮）
目的：親子や仲間同士で呉の魅力を語り、まちを誇れる関係を育む
方法：参加・体験型事業の実施

6. その他